

ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書 (保管事業者及び所有事業者用)

令和5年8月1日

千葉市長

殿



届出者

住所 東京都江東区豊洲3-2-20
 氏名 マルハニチロ株式会社 総務部長 池田 弥央
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 03-6833-4149

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法第8条第1項(法第15条及び第19条において読み替えて準用する場合を含む。)の規定に基づき、令和4年度のポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分の状況等を届け出ます。

1. ポリ塩化ビフェニル廃棄物について

保管事業場の名称	日本サイロ株式会社		
保管事業場の所在地	千葉市美浜区新港3-2		
特別管理産業廃棄物管理責任者の職名及び氏名	総務部不動産課 課長代理 藤澤 素子	電話番号	070-7412-0420
保管の場所	上記保管事業場の所在地に同じ		

① 前年度の3月31日に保管していたポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					処分予定年月	量		濃度区分	保管の状況				処分業者との調整状況	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等		台数又は容器の数	総重量 (1台当たり重量×台数)		容器の性状	囲い等の有無	分別・混在の別	漏れ等のおそれ		

(日本産業規格 A列4番)

②前年度中に新たに保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の型式等						量		濃度区分	保管開始年月日	保管開始理由	参考事項
	廃棄物の種類	定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)				

③ 前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において保管することとなったポリ塩化ビフェニル廃棄物（④の場合を除く。）

番号	廃棄物の型式等						量		濃度区分	保管終了年月日	保管終了理由	移動先の保管の場所並びに事業者又は事業場の名称及び所在地	参考事項
	廃棄物の種類	定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)					

④ 前年度中に自ら処分し、又は処分を委託したポリ塩化ビフェニル廃棄物

番号	廃棄物の種類	廃棄物の型式等					量		濃度区分	自ら処分した場合		処分を委託した場合			参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数	総重量 (1台あたり重量×台数)		処分年月日	処分後の廃棄物の種類及び量	処分委託年月日	処分受託者の名称	処分年月日	
01-002	蛍光灯安定器	-	松下電工株式会社	FZ40213540	1970年	不明	12台	26.4kg (1台2.2kg)	高濃度			2022年 6月17日	中間貯蔵・環境安全事業株式会社	2022年 7月16日 8月19日	マニフェストE票添付

(第4面)

③前年度中に他の事業場又は他の事業者の事業場において所有することとなった高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品

番号	製品の種類	製品の型式等				量		所有終了年月日	所有終了理由	移動先の所在の場所並びに事業者又は事業場の名称及び所在地	参考事項
		定格容量	製造者名	型式	製造年月	表示記号等	台数又は容器の数				

- 備考
- この届出書は、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管又はポリ塩化ビフェニル使用製品の所有に係る事業場ごとに作成し、毎年度6月30日までに提出すること。
 - 届出者や事業場に関する情報に変更があった場合には、速やかに都道府県知事に連絡すること。
 - 「保管事業場の名称」及び「保管事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の場所に係る事業場を記入すること。また、「所在事業場の名称」及び「所在事業場の所在地」の欄には、ポリ塩化ビフェニル使用製品の所在の場所に係る事業場を記入すること。
 - 「番号」の欄には、それぞれ先頭に「前年度の元号数-」を加えた整理番号（令和元年度の保管状況を届け出る場合の例：1-001）を付すこと。なお、前回までの届出において既に当該事業場における番号が付されているものについては、引き続きその番号を記入すること。
 - 「廃棄物の種類」及び「製品の種類」の欄には、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること。
 - 「廃棄物の型式等」及び「製品の型式等」の欄には、変圧器（トランス）等の銘板に記載されている「定格容量」、「製造者名」、「型式」、「製造年月」及び「表示記号等」を記入すること。なお、「表示記号等」については、記入要領に沿って、その名称を具体的に記入すること（例：不燃性油）。
 - 「処分予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物を自ら処分し、又は他人に委託することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記入しなくて構わない。
 - 「量」の欄のうち、「台数又は容器の数」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については台数（個数）を、その他のものについては保管している容器の数（缶数等）を、それぞれ単位とともに記入すること。ただし、電気機器であっても、小型のものを容器にまとめて保管している場合であって台数（個数）を把握することができないときは、保管している容器の数（缶数等）を単位とともに記入すること。
 - 「量」の欄のうち、「総重量」の欄には、ポリ塩化ビフェニルを使用する電気機器については、1台当たりの重量に台数（個数）を掛けた重量を記載すること。その他のものについては、容器込みでの重量を記載すること。
 - 「濃度区分」の欄には、「高濃度」、「低濃度」又は「不明」のうち該当するものを記入すること。なお、「高濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品の略称、「低濃度」とは高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物以外のポリ塩化ビフェニル廃棄物又は高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品の略称である。
 - 「保管の状況」として、新たにポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況を届け出る場合や、既に届け出たポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管の状況に変更があった場合には、保管しているポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管状況の分かる写真を本届出に添付すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「容器の性状」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している容器の有無、容器がある場合にはその種類を具体的に記入すること（例：「ドラム缶」、「なし」）。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「囲い等の有無」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を保管している場所の周囲の囲いの有無及び保管に係る掲示板の有無を記入すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「分別・混在の別」の欄には、他の物品と分別して保管しているか混在して保管しているかの別を記入すること。
 - 「保管の状況」の欄のうち、「漏れ等のおそれ」の欄には、保管中のポリ塩化ビフェニル廃棄物が漏れたりこぼれ落ちたりするおそれの有無を記入すること。

(第5面)

16. 「処分業者との調整状況」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物及び高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品に係る処分業者との委託契約の締結状況等を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物については記載しなくて構わない。
17. 「参考事項」の欄には、その他保管の状況等を把握する上で参考となる事項を記入すること(例:「屋内で保管」、「絶縁油を抜いたもの」、「PCB濃度△mg/kg」、「今後分析予定」)。なお、保管の場所や所在の場所が複数存在する場合は、各廃棄物及び製品について、その保管の場所又は所在の場所をそれぞれ特定して記載すること。
18. 「保管開始理由」及び「所有開始理由」の欄には、「他の事業場から移動」、「譲受け」及び「承継」のいずれかを記入すること。
19. 「保管終了理由」及び「所有終了理由」の欄には、「他の事業場に移動」、「譲渡し」及び「承継」のいずれかを記入すること。
20. 「処分年月日」の欄には、実際にポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分が終了した日を記入すること。
21. 「処分後の廃棄物の種類及び処分先」の欄には、ポリ塩化ビフェニル廃棄物を処分した後に生じた廃棄物の種類及び処分先を記入すること。
22. 「①前年度の3月31日に使用していたポリ塩化ビフェニル使用製品(高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物を除く。)」の表は、高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品以外のポリ塩化ビフェニル使用製品については、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の保管事業者が、本施行規則第9条第1項第5号又は第20条第1項第5号の規定に基づき、記載するものである。
23. 「高濃度ポリ塩化ビフェニル使用電気工作物」とは、電気事業法(昭和39年法律第170号)第2条第1項第18号に規定する電気工作物である高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品をいう。
24. この届出書において、「廃棄」とは、ポリ塩化ビフェニル使用製品の使用を止め、廃棄物とすることをいう。
25. 「廃棄予定年月」の欄には、高濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品を廃棄することを予定している年月を記入すること。低濃度ポリ塩化ビフェニル使用製品については記載しなくて構わない。
26. この届出に係るポリ塩化ビフェニル廃棄物の処分についての産業廃棄物管理票の写し(廃棄物処理法第12条の3第4項又は第12条の5第5項の規定による送付を受けた産業廃棄物管理票の写しをいう。以下同じ。)を複写機によりA3判以下の大きさの用紙に複写したものを添付すること。なお、電子情報処理組織を使用するためこれらの書類を添付することができない場合は、当該これらの書類に代えて、当該これらの書類に記載される事項に相当する事項を記録した電磁的記録をA3判以下の大きさの用紙に出力したものを添付すること。ただし、6月30日において、産業廃棄物管理票の写しの送付又は廃棄物処理法第12条の5第4項の規定による通知を受けていないため添付すべき書類を添付することができないときは、その産業廃棄物管理票の写しの送付のあった日又はその通知のあった日から10日以内に提出すること。
27. その他環境大臣が定める書類及び都道府県知事が必要と認める書類を添付すること。
28. 都道府県知事が定める部数を提出すること。



産業廃棄物管理票 (マニフェスト) 伝票

付年月日 2022年6月17日 交付番号 21624567661 整理番号
 氏名又は名称 マルハニチロ株式会社 氏名 日本サイロ株式会社
 住所 〒135-8608 東京都江東区豊洲3-2-20 電話番号 070-7412-0420
 住所 〒261-0002 千葉県千葉市美浜区新港3-2 電話番号 070-7412-0420

事業場 (排出事業場) 事業場
 種類(普通の産業廃棄物) 燃えがら 1200 金属くず 7000 引火性廃油 7424 燃えがら(有害)
 0200 汚泥 1300 ガラス廃棄物(有害) 7010 引火性廃油(有害) 7425 廃油(有害)
 0300 廃油 1400 鉱さい 7100 強酸 7426 汚泥(有害)
 0400 廃酸 1500 がれき類 7110 強酸(有害) 7427 廃酸(有害)
 0500 廃アルカリ 1600 家畜のふん尿 7200 強アルカリ 7428 廃アルカリ(有害)
 0600 廃プラスチック類 1700 家畜の死体 7210 強アルカリ(有害) 7429 ばいじん(有害)
 0700 紙くず 1800 ばいじん 7300 感染性廃棄物 7430 13号廃棄物(有害)
 0800 木くず 1900 13号廃棄物 7410 PCB等 7440 廃水銀等
 0900 繊維くず 4000 動物系固形不燃物 7421 廃石棉等
 1000 動植物性残さ 7422 指定下水汚泥
 1100 コムくず 7423 鉱さい(有害)

種類(特別管理産業廃棄物) 数量(及び単位) 荷姿
 漏れ防止型金属容器にて運搬
 産業廃棄物の名称 PCB廃棄物
 有害物質等 PCB
 処分方法 洗浄・分離・分解
 備考・通信欄
 水銀使用製品産業廃棄物
 水銀含有ばいじん等
 石綿含有産業廃棄物
 特定産業廃棄物
 伝票R130セ920

中間処理業者(最終処分業者) 排出事業者(中間処理業者)
 名称 松田産業株式会社 電話番号 03-5381-0001
 住所 〒163-0558 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
 名称 中間貯蔵・環境安全事業(株)北海道PCB処理事業所
 住所 〒050-0087 電話番号 0143-23-7007
 北海道室蘭市仲町14番地7

運搬受託者 名称 中島貯蔵・環境安全事業株式会社
 住所 〒195-0014 電話番号 03-5765-1911
 東京都港区芝一丁目7番17号
 処分受託者 名称 中島貯蔵・環境安全事業株式会社
 住所 〒195-0014 電話番号 03-5765-1911
 東京都港区芝一丁目7番17号

受託者の氏名又は名称 (運搬担当者) 中島 積又は保管
 受託者の氏名又は名称 (委託担当者) 中島 積又は保管
 数量(及び単位) 2022年6月23日 有価物捨棄量
 最終処分 2022年7月6日 最終処分終了年月日
 2022年7月9日

委託契約書(第12271003873号) 委託契約書の締結にあっては委託契約書記載の番号
 4.8.1
 委託契約書(第00140016404号) 4.8.1
 株式会社 C & R (第00140085831号) 4.8.1
 IX金属苦小牧カミカル(平成30年第11号) 4.8.1
 発行元: 公益社団法人 全国産業資源循環連合会

照合確認
 年 月 日
 年 月 日
 年 月 日

中間処理業者/最終処分業者 → 排出事業者/中間処理業者

複製を禁じます
 物品にご注意ください

